

令和6年度 学校評価結果公表シート

作成 さらな保育園

1. 本園の保育目標

仏教の教えを基に「つよく・あかるく・なかよく」をモットーに子どもの主体性を育みます。
子どもを取り巻くすべての環境を大切に子ども達一人ひとりを大切に育てます。
安定した情緒の下で生活できる環境を整えます。
家庭や地域との連携を図り、子どもの健やかな成長・発達を支援します。
全身を使って事物や人に働きかけ、体験を通して豊かな創造・想像する力を育てます。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

保育の充実をはかり、子ども達のより良い生活をめざし、日々の目標とを並行しながら、安定した環境をより考慮していきたいです。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
・園内研修の充実と質の向上	できるだけ順番に研修に参加できるように配慮し、保育士の中で紙面の報告書の作成だけでなく、報告することを大切に共有しています。
・情緒の安定を図るわらべうたの充実	わらべうたを子ども達との関わりの中で取り入れていく研修でうたをうたう機会を作り、交互に参加しました。
・保護者とのコミュニケーションを図る。	親御さんから相談を受けたことなど保育士同士で共有し、アドバイスしたり、連絡帳でお答えしたり、みんなで関わられるようにしています。必要に応じて個別でルクミーのアプリで事前にお伝えしています。
子ども一人ひとり丁寧に関わり、個性に応じた関わりと援助の充実	担当保育士だけでなく子ども達のことを把握するのではなく、全体で情報を共有することを大切に、情報交換、職員会議等でも共有します。
安全・安心	乳児の感染症が拡散するため都度共有・消毒・対策に努めます。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

実践の方向性が臨機応変に対応できる柔軟性も見られるようになってきており、方針と取り組みを照らし合わせて実践できるように努力することができた。
連携施設である幼稚園(みどり幼稚園)との連携を深めて、情報の共有を考えていく。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
新保育指針の理解と保育目標への充実と情報共有	普段の送迎の時間を利用して保護者との関わりを大事にしているが、具体的にお伝えする手段を共有する
職員間のチームワークの意識 新人保育士への伝え方	新年度にむけて新しいクラスの雰囲気を作り、自己研鑽につとめていきたい。
保護者に対する情報の提供	おうちえんに移行すること、インスタの取り組みを引き続き提供していく

6. 学校関係者の評価

委員からは良好な運営をされ、また学校評価にも積極的に取り組まれているとの意見を頂いた。
アンケートの結果からもう少し給食に評価をして頂けるように内容量を見直し満足してもらえるように配慮していけたら良いのではとの意見を頂いた。